

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	松江市
共同提案者名	株式会社山陰合同銀行、ごうぎんエナジー株式会社、中国電力株式会社、日鉄エンジニアリング株式会社、日鉄環境エネルギーソリューション株式会社、株式会社インターネットイニシアティブ、東京海上日動火災保険株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行、一般社団法人しまね産業資源循環協会、アースサポート株式会社、一般社団法人松江観光協会
選定回	第3回

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	観光振興、資源循環
地域脱炭素の基盤創出	中核企業との連携
需要家・エリア設定	公共施設群、その他（温泉街）
創出する再エネの種類・導入技術等	熱利用、高度なエネマネ（VPP、DR、MG、大型蓄電池等）

1-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left(\frac{0.0331531}{16,373} (\%) \right) + \left(\frac{0.0873971}{43,162} (\%) \right) \div 49,386,073 (\text{kWh/年}) = 0.1 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)					省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳				合計			
				自家消費等	相対契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	377	1,505,663	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
民生・業務その他	オフィスビル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	商業施設	101	15,414,885	0	0	0	0	0	0	0	
	宿泊施設	29	21,206,670	16,373	0	0	0	16,373	43,162	145	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
公共	公共施設	0	11,258,855	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計			49,386,073	16,373	0	0	0	16,373	43,162	145	

1-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
0	0	10	6						15

1-3.「実質ゼロ」の達成見通し

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
0	12	100	100	100	100

2-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		2,608,173	29,515,476	42,559,135	51,177,347	592,141,030	0	0	0
	累計		2,608,173	32,123,650	74,682,784	125,860,131	718,009,161	718,009,161	718,009,161	718,009,161
実績	単年度		0	38,058	1,212,964					
	累計		0	38,058	1,251,022					

2-2.個別KPIの進捗状況

■指標①：観光入込客数（万人）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		941	1,000	1,020	-	-	-	-	1,100
	累計		-	-	-	-	-	-	-	-
実績	単年度		857	873	-					
	累計		-	-	-					

実績詳細	令和5年度及び6年度の数値は、令和6年版観光白書から記載している。なお、令和12年度の目標値には松江市観光戦略プランの2030年度目標値を記載している。
------	--

■指標②：ごみ発電所におけるバイオマス代替燃料使用によるCO2削減（バイオマス燃料における水草や林地残材活用割合（%））

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	0	0	0	5	0	0	0
	累計		0	0	0	0	5	5	5	5
実績	単年度		0	0	0					
	累計		0	0	0					

実績詳細	エコクリーン松江におけるバイオマスコークス（水草）の活用について、R6年9月に助燃材としての活用について協議した。水草には主要成分であるリグニンの含有率が0%のため固まらない（炭化しない）ことから、バイオマス燃料としては活用が難しいとの報告がある。
------	--

■指標③：公民館の防災機能強化のためEV、V2H、V2L整備（導入箇所）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	2	0	0	0	0	0	0
	累計		0	2	2	2	2	2	2	2
実績	単年度		0	2	0					
	累計		0	2	2					

実績詳細	令和6年度において、EV車及びV2Lを2箇所導入した。導入した設備を防災訓練等で利用することで、利用方法を習得し、防災力を高めることとしている。
------	--

3.横展開の可能性について

自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

●自治体外への横展開

- ・情報番組において堀川遊覧船の電動化とJブルークレジットを活用した個人型旅行商品について紹介、GEA国際会議2024、第5回脱炭素先行地域選定証授与式・第2部地域脱炭素フォーラム、COP29など国内外の会議において事例発表するなど情報発信を行っている。
- ・まつえゼロカーボンサミット2025の開催
- ・行政視察を積極的に受けている。…令和5年度1件、令和6年度4件

●市内での横展開

- ・まつえゼロカーボンサミット2025の開催
- ・公民館へレジリエンス強化のために設置した充放電設備について、他の公民館へ情報共有がされている。

4.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

2030年の松江のあるべき姿や本市の施策を示す最上位計画である「松江市総合計画 MATSUE DREAMS 2030（令和4年3月策定）」では、二酸化炭素排出量を916千t-CO2とすることを目標とし、下記の項目を掲げている。

- 2050年のカーボンニュートラル（脱炭素社会）に向けて、太陽光・風力・地熱・小水力・木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの普及を促進する。
- 日本海・宍道湖・中海の海藻や水草によって吸収されるCO2（ブルーカーボン）を活用して、カーボンオフセット制度を構築する。
- 再生可能エネルギーを活用して、スマートシティのモデルケースになることをめざす。